

息子と感謝

東京落語会

の、パレィヤ、の申し込

と息子と持つ、て弄てくぬ

昔 落語 しくそいでいた

三郎定丹梨 林屋 不久崩 狂歌丸

ふもしろくて 笑いの付ていた

林家三平も大人気だつた

生活の甲斐 笑いの付ていた

息子が 日々豊に暮らしたの思い

気をつか、てくれたこと

だのに さあまごう と気がついた

昨夜 たそく 月曜の人物をさく、の、

かまの、長町向の、その、

す、いと、

今の生活に、関係、よく、

感動する、内容に、遠い、

現在、日常、より、

生活、変化、して、

多く、と、の、

笑、も、その、程度、の、

笑いにちがいの程度の差があるとは思つて
いふのが 今の生活の甲斐の笑いとちがふと
ちがう

もちろん別にちがつてもかまわない

落語会に存じ上りの人間が或も 他の職業と

ちがいはない

どんな仕事でも 仕事を運ぶこの苦勞はあつた

し成長していき

本人の気持ち次第

息子に感謝しやう

申し込んでもうしとすゝこととしん

20²³
1/2